

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民福祉部 福祉課	内線等	2111
事務事業名	ボランティアセンター活動事業		0	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	Eなし			

総合計画での位置付け

基本目標	7. その他	施策名	その他
------	--------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市社会福祉協議会に対し
手 段	ボランティアセンター事業に補助することによって
想定する成果	ボランティア活動を支援する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
手話点字等養成講座	年2回	37人	年3回	30人	年3回	65人
声の広報等発行	年30回	54部	年24回	54部	年18回	54部
ふれあいレクタイム	年2回	325人	年1回	230人	年1回	230人
ボランティア登録者数	1,421人		1,295人		1,320人	
事業費総額	1,828,896円		1,861,848円		2,040,000円	

成果指標

成果指標名	ボランティア登録者1人当たり補助金	補助率
成果指標の説明	補助金額 ÷ 登録者数	補助金額 ÷ 事業費総額 × 100

事業の進捗状況（ 一般 会計 ）（単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		1,056円				1,158円				1,136円			
成果指標		82.0%				80.6%				73.5%			
事業費	事業費	1,500				1,500				1,500			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0
	合計	2,278				2,281				2,285			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,278				2,281				2,285			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	手話・点字等のボランティアの育成、派遣及び障害者との交流会を実施している。
経済効率性	2	2	2	2	ボランティアの育成を支援している。
事務効率性	2	2	2	2	社会福祉協議会が実施する事業に補助金として支出しているもので、効率性は良好である。
必要性	2	2	2	2	声・点字広報を作成等のボランティア活動に役立っており、障害者を支援する上で必要な事業となっている。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	8	8	8	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	社会福祉協議会が行うボランティアセンター事業は、手話・点字養成講座、声の広報、点字広報及び障害者交流事業(ふれあいレクタイム)を実施しており必要な事業である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

マンネリ化している各種イベントの見直しと、手話等のボランティア養成に努める。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

